

マキダキッズクラブ



病児保育 だより 169
8月発行

479-0835 ■■■

常陸市陶師町1-8-1
TEL 0569-36-2112
FAX 0569-36-2226

猛暑が続いています。

水分補給と休息に心がけ暑い夏を乗りこえよう。

今月は、利用の多い1、2、3歳の病児保育室に於ける、一般的に「マキ」について考えてみたいと思います。

病児は、病児だけでなく、我が家（出ますか）ある程度「まなこ」の「まなこ」を受け入れることができず、マキは受けられない。人の迷惑（第三者の危険など）を命令書とみながら、なぜ受けられないかを、親子にわかるように話し、止めたり、中止させたり（可）。（この時、命令が厳しくて、聴く耳、理解する力がたいてい弱く忘れれば、なりません）

定いたりに、抱いたりして（病児の我慢（まなこ）気持ちとせのまにむけて、叩き換えさせたりして）います。

その時、その場を大甲にして、ある程度満足感を持って、行動させたり、マキが楽しくマキを共有しながら、病児と何らかの臨機応変に対応できるように、社会性も少しづつ身につくと考えます。

マキクラブと利用される病児・健児は、又保護者として、その日、その日の安心に、心で過ごせる場所、まかせていたるところで、ありたいと思っ、協力しています。

<お医者さんのお話>



暑い日が続きますね。

気温が上昇しますと、体温調節中枢の未熟な3才以下の赤ちゃんは、気温と同調して、高体温になり、夏期熱という状態になります。これは、病気というよりは、水分の発散が皮膚からうまく行われなかったり、水分補給が十分にできなかったりすると生じます。クーラーや陽陰などで過ごす自然に解熱します。

年齢が大きくなると、サッカー、野球などの熱中症になり、痙攣、歩行障害などで、その時は、横になり、スポーツ飲料、塩分をとりましょう。

